

7月

防犯だより

～ 夏休み直前号 ～

日光市立南原小学校

H29.7.7

第2号



いよいよ夏休みです！



子供たちが待ちに待った夏休みがやってきます。学校が休みとなり、気がゆるむ子も多いことでしょう。また、買い物や旅行・親せきの家へ出かけることも多くなると思います。楽しいことの近くに犯罪のかけが忍び寄ってくることがあります。犯罪やトラブルに巻き込まれないため、確認をお願いします。

子どもだけの留守番 どう対応したらいい？

1 玄関のドアは決して開けないのが鉄則！

自分で対応ができるお子さんの場合はインターホン越しに相手を確認めて、予め決めた相手にだけ、ドアを開けずに対応させます。

2 子供だけでの留守番を相手に悟られない工夫を

もし相手が勧誘目的や訪問販売であった場合、「お母さんは今手が離せないので、あとでしてください。」など、子供だけで留守番をしていることを相手に悟られない工夫をすると良いでしょう。

3 留守番のときに電話が鳴ったらどうする？

「お母さんが『今、手が離せないのであとで掛けなおします。』と言っています。名前と電話番号を教えてください。」など、ここでも、子供だけで留守番をしていることを悟られないようにしましょう。

4 家の防犯対策をしっかりとし、なるべく早く帰宅するようにしましょう。

「電話もチャイムも一切出ない。」「あらかじめ留守番電話に設定しておく。」など、居留守を使うことで留守宅と思われてしまい、子供が危険にさらされることも考えられます。万が一の場合に備え、家の防犯対策をしっかりとし、なるべく早く帰宅するようにしましょう。



携帯・スマホ・インターネットのトラブルって？



☆手軽で便利なコミュニケーションツールなので、小学生でもクラブ活動の連絡網や家族同士の連絡手段としても利用することが増えています。一方で問題も指摘されています。どのようなことが問題になっているのでしょうか。考えられるトラブルをあげてみました。

1 コミュニケーションをスマホに依存してしまう。

「未読」がたまることを気にしたり、メッセージを読んだらすぐに返信しなくてはならないという義務感にかられたりして、始終スマートフォンを気にする状態になることもあるようです。

2 あらたな「ネットいじめ」の舞台に？

悪口を書かれたり、無視されたり、グループから外されたりといった「ネットいじめ」が起きています。なかには、悪意のある写真を広められるなど、深刻なトラブルもあるようです。「仲間内のコミュニケーション」という閉鎖的な環境だからこそ、陰湿ないじめに発展してしまうことも考えられます。

3 知らない人とつながってしまう？

友達だちや家族との関わりだけではなく、見知らぬ人と連絡をとることも可能です。子供と知り合う目的でSNSや無料通話アプリを利用する大人もおり、強制わいせつや児童ポルノなどの犯罪に巻き込まれたり、個人情報漏洩したりするきっかけになる事件も発生しています。

★「家は、携帯電話、スマートフォンを持たせてないから大丈夫。」と安心していらっしゃる方が多いと思いますが携帯ゲーム機やパソコン、ゲーム機などにも通信機能がついています。

★「フィルタリングをしてあるから」というのも盲点で、お子さんが外している場合もあるようです。自由になる時間が増える夏休み。親のフォローが欠かせません。安全に使うためのルールを徹底するだけではなく、「子どもが情報ツールで何をしているか」にも一層意識を向けてみる必要があるかと思えます。

